

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（こども） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（ ）	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
久保田隆範・秋山真奈美・大塚登	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
本授業では、就職し社会人となってから役立つ基礎的知識や態度を身につけ、実際に自己を生かす職業に就き、そこで活躍する際に必要になる知識・技術や望ましい態度等を学ぶ。また演習を通じ、自己のキャリア形成イメージをさらに深化させるとともに、主体性やコミュニケーション能力、チームワーク力、プレゼンテーション能力を涵養する。また、それらを活用し実践に移すべく、実際に行事等を企画する。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥集団でひとつの目標に向かって共同作業する際の技能を身につける。				
授業の方法				
キャリア演習Ⅰ同様、クラスを越えたグループを結成し、主体性開発メソッドをアクティヴ・ラーニングする。そのワークでは、仲間と積極的にに関わり、個人だけでなく集団の力量を高める方法を体得することをねらう。また、それらの技能を活用して、実際に行事等を企画する。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)問題解決のために、個人および集団の技能を活用することができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 履修指導 活動グループ編成 （全体30分：クラス指導60分） 9/20			
第2回目	学校行事を基盤とした地域交流活動について①（クラス別90分） 9/27			
第3回目	課外活動：地域の児童福祉施設を訪問する 10/11 ※時間帯調整あり 【課題10点配点】			
第4回目	地域支援活動を考える① 10/18 ※時間帯調整あり			
第5回目	学校行事を基盤とした地域交流活動について②（クラス別90分） 10/25			
第6回目	資格申請指導（全体90分） 11/1			

第7回目	主体性開発メソッド：個性を活かす ポジティブ・フィードバック 〔ワーク〕 私のキャラ立ちパワーアップ会議 基礎力チェック 【レポート5点配点】（Fc大塚：全体90分）11/8
第8回目	主体性開発メソッド：問題を提起する 〔ワーク〕 職場での課題について （Fc秋山：全体90分）11/15
第9回目	主体性開発メソッド：プレゼンテーションをしてみよう① ※第8回のディスカッションの内容をプレゼンテーションする 【発表30点配点】（全体90分）11/22
第10回目	主体性開発メソッド：プレゼンテーションをしてみよう② ※第8回のディスカッションの内容をプレゼンテーションする 【発表30点配点】（全体90分）11/29
第11回目	主体性開発メソッド：計画を構想する 〔ワーク〕 The Tower 【レポート5点配点】（Fc久保田：全体90分）12/6
第12回目	主体性開発メソッドのまとめ（全体90分） 〔ディスカッション〕 「議論を通じた問題解決力について、自分たちは何を学び、成長したか」他 【課題10点配点】12/13
第13回目	保育者として季節行事を企画する（全体90分）12/20
第14回目	地域支援活動を考える② （全体90分） 1/10
第15回目	保育者として季節行事を実践する（全体90分） ※総合レポート「キャリア演習から学んだこと」【課題10点配点】提出 1/17
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、講話担当者や担任に質問に行くこと。
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	30% ディスカッションやワーク時の積極的な協議姿勢、講話や他グループの発表時における質問などは高く評価する。授業に無関係の行動、居眠り、不参加は減点の対象とする。
レポート	40% 上記配点により、各回の主題に応じたレポートを課す。主題に即した内容が、適切な記述法に則って、多角的に示されているのが望ましい。
調査報告書	
小テスト	
試験	
発表内容（態度含む）	30% 第9回あるいは第10回の発表内容・態度を各教員10点配点で採点する（合計30点配点）。これまでのワークを反映したプレゼンテーションとなっていることが好ましい。
その他	
教科書と参考図書	
『タクナル：学びたくなる、見つけたくなる、解決したくなる、タクナル式・主体性開発メソッド』（リアセック）。 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、1年次購入済）。 参考書は講義中に適宜指示する。	
履修上の留意点・ルール	
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え課題を必ず提出すること。課題の提出〆切は原則として1週間後とするが、イレギュラーの場合はクラス指導の場で示す。欠席してしまった場合は、速やかに担任に報告し、必要な課題を受け取ること。	

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ(栄養士) (卒業研究) Career seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
穂積 元・藤田 睦・駒場 啓子・野中 春名		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥栄養士の資格を目指す学生として幅広い基本知識を習得することができるようにする。 ⑦栄養士の資格を目指す学生として、コミュニケーション能力を養い状況判断ができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)栄養士としての実践力を養うことができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	合同セミナー 講義ガイダンス（卒業研究に向けて）			
第2回目	研究にあたっての資料の集め方			
第3回目	中間報告①			
第4回目	中間報告②			
第5回目	資料集め、個別相談①			
第6回目	資料集め、個別相談②			

第7回目	資料集め、個別相談③	
第8回目	研究発表①	
第9回目	発表原稿作成①	
第10回目	研究発表②	
第11回目	研究発表③	
第12回目	発表原稿作成②	
第13回目	研究発表④	
第14回目	抄録集作成（A4用紙1枚にまとめる）	
第15回目	抄録集作成、まとめ	
事前・事後学習	研究にあたっての資料収集を図書館等で行う。発表原稿の作成を授業以外でも空き時間を利用して行う。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	発表者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。テーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	10%	中間報告の内容をレポートにまとめ提出する。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書	10%	抄録集の作成（A4用紙に要点をしっかりとまとめている場合には10点、書き方については授業の中で説明する。）
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	60%	卒業研究として各テーマでの調べ学習について意見をしっかりとまとめている。発表媒体をわかりやすく作成し卒業研究にふさわしいプレゼンテーションができる。
その他		
教科書と参考図書		
参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（介護福祉士） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（介護福祉士養成課程 必修）	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護総合演習Ⅴ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
久保 由佳、他		福祉棟2F	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション / 履修指導			
第2回目	国家試験に向けた対策・準備①			
第3回目	国家試験に向けた対策・準備②＜小テスト①＞ ＊課題① 模擬問題の実施			
第4回目	事例研究のまとめ① （和田）			
第5回目	事例研究のまとめ② （和田）			
第6回目	国家試験に向けた対策・準備③＜小テスト②＞			

第7回目	国家試験に向けた対策・準備④		
第8回目	キャリア講演会① 卒業生	*課題② 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第9回目	キャリア講演会② 施設長・人事担当者	*課題③ 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第10回目	国家試験に向けた対策・準備⑤		
第11回目	国家試験に向けた対策・準備⑥		
第12回目	労働者の生活を守る制度	*課題④ 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第13回目	自己啓発について	*課題⑤ 感想レポート	【社会福祉士フィールドと合同】
第14回目	国家試験に向けた対策・準備⑦		
第15回目	まとめ / 国家試験に向けた対策・準備⑧		
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。特に国家試験対策では、正誤の確認だけでなく、その根拠をテキストや参考書を使い調べること。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③積極的に取り組んでいる。
レポート		50%	10点満点のレポート課題を5つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守っている。
調査報告書			
小テスト		20%	第3回目、第6回目の授業で、国家試験に準じた内容の小テストを実施する。実施後、答え合わせと解説を行う。
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
平成29年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入） その他、国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等を使用する。			
履修上の留意点・ルール			
進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習 II (医療事務・メンタルヘルス) Career Seminar II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(医療秘書技能検定対策講座)	医療秘書演習 I・IIの履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
メディカルクラーク、ドクタズクラーク				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
電子カルテ I・II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	講義棟 2階	火・水・木・金の9時から16時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥医療秘書としての役割と必要性について理解し行動できるようにする。 ⑦専門職として職場でのコミュニケーション能力を身につけることができるようにする。 ⑧医療秘書技能検定2級に合格できるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)医療秘書としての知識を身につけることができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 医療秘書とは			
第2回目	医療秘書の役割と必要性			
第3回目	医療機関の組織と理解			
第4回目	基礎薬理 ①			
第5回目	基礎薬理 ②	小テスト I		
第6回目	臨床薬理 ①			

第7回目	臨床薬理 ②	小テスト II
第8回目	ケースワーク I	
第9回目	ケースワーク II	
第10回目	ケースワーク III	(ケースワークの感想をレポート提出)
第11回目	傾向と対策 1	
第12回目	傾向と対策 2	
第13回目	傾向と対策 3	
第14回目	傾向と対策 4	
第15回目	傾向と対策のまとめ	小テスト III
事前・事後学習	基礎薬理や臨床薬理の作用・副作用等を理解し、わからないことはそのままにせず、ITや図書館を活用して、次回までに調べる事。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	10%	課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト	50%	3回の小テストを行い、理解度を図る。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	10%	医療秘書技能認定試験 2 級の合格
教科書と参考図書		
医療秘書検定 2 級問題集、早見表		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、医療秘書検定 2 級の合格を目指し、マナーを守り自分で考え、課題を必ず提出すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ(英語) [Tutorial 4] Career Practice II(English) [Tutorial 4]		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
Roy Connolly	English Salon	From 9:00 to 18:00 on Monday to Friday		授業中に指示します
授業の概要				
Students will use the English language productively in discussions, readings, and writing assignments.				
授業の目標				
This course helps students develop vocabulary and speaking skills to further develop these skills to gain better fluency as well as to develop vocabulary to enhance other coursework.				
授業の方法				
Students will learn through vocabulary and speaking activities within a variety of practical situations.				
学習の成果（学習成果）				
Students will be able to ask for and give directions around town, use prepositions of space to describe locations of items and places, interact in various work environments: clothing store, airport, office, hotel, use prepositions of motion to interact about transportation, give instructions to others using video as a medium, and collaborate with peers to debate on a given topic with another team.				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス, Places Around Town #1 (p. 36-37): Review Emotions (p. 46)			
第2回目	Places Around Town #2 (p. 38-39): Giving and asking directions A: Homework 1, Quiz 1			
第3回目	The City (p. 40): Giving and asking directions B, Prepositions of space (p. 8), Homework 2, Quiz 2			
第4回目	Describing Clothing (p. 71): Homework 3, Quiz 3			
第5回目	Office Supplies and Equipment (p. 120): Homework 4, Quiz 4			
第6回目	Project1 Presentations: Instructional Video, Homework 5, Quiz 5			

第7回目	Public Transportation (p. 124)	
第8回目	Highways and Streets (p. 128): Homework 6, Quiz 6	
第9回目	Prepositions of Motion (p. 129): Homework 7, Quiz 7	
第10回目	Traffic Signs and Directions (p. 130): Homework 8, Quiz 8	
第11回目	The Airport (p. 131): Review Prepositions (p. 8), Homework 9, Quiz 9	
第12回目	Airplane Travel #1 (p. 132, 1-18): Review Prepositions (p. 8), Homework 10, Quiz 10	
第13回目	Project #2: Team Debates! Homework 11, Quiz 11	
第14回目	Airplane Travel #2 (p. 132, 19-K)	
第15回目	The Hotel (p. 133), Homework 12, Quiz 12	
事前・事後学習	Do tasks instructed in the previous lesson and review for your next class.	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	15%	Participation is based on preparation, use of English, and classroom behavior.
レポート	15%	Homework (12x): A weekly assignment focusing on that week’s objectives.
調査報告書	20%	Project 1: 5-minute video instructing peers how to do something Project 2: Debate on a controversy
小テスト	30%	Quizzes (12x): evaluate the comprehension skills practiced in class and vocabulary acquired.
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	20%	Attendance: 2 points are earned for scheduled lessons: on time and for the full class.
教科書と参考図書		
・ Word by Word Intermediate Vocabulary Workbook with CDs ・ Word by Word English/Japanese Second Edition Picture Dictionary ・ Teacher Handouts/Materials		
履修上の留意点・ルール		
・ Phones are to be switched off, or in manner mode, and put away during class time. No phone use during class. ・ The teacher may change the syllabus at any time, for any reason.		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ(観光ホスピタリティ) Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
斎藤 清		本館2階	火曜日・水曜日・木曜日	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識・技術・望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観・役割・責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用(毎回のレポート課題として行う)、キャリアデザイン(履修計画)再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別ワーク)。			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別ワーク)。			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動のながれ。	
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える①（個別・グループワーク）。	
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。	
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。	
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。	
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループA。	
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループB。	
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返りー 発表。	
第15回目	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてまとめ。	
事前・事後学習	事前：進路活動状況につき、授業内で課題を共有出来るよう準備すること。 事後：授業内で共有された進路活動状況を、自らの進路活動に活かせるよう努力すること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	進路活動報告、新聞の活用 各5点をそれぞれ7つ以上、進路活動発表資料を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出〆切を守り必ず提出すること。課題の提出締め切りはクラス指導の場で示す。欠席の場合は欠席届を提出すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（社会福祉士・卒業研究） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(社会福祉士フィールド 必修)	社会福祉士フィールド2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大熊 信成、他		福祉棟3F	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション / 履修指導			
第2回目	研究ノートの書き方			
第3回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備			
第4回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備			
第5回目	進路個別面接 / オレンジリボン運動準備			
第6回目	研究ノートのための情報収集 *課題① 研究計画			

第7回目	研究ノート	
第8回目	キャリア講演会① 卒業生	*課題② 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第9回目	キャリア講演会② 施設長・人事担当者	*課題③ 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第10回目	研究ノート	
第11回目	研究ノート	*課題④ オレンジリボン運動 感想レポート
第12回目	労働者の生活を守る制度	*課題⑤ 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第13回目	自己啓発について	*課題⑥ 感想レポート 【介護福祉士フィールドと合同】
第14回目	研究ノート	
第15回目	まとめ / 研究ノート	*課題⑦ 研究ノート
事前・事後学習	授業でわからなかった点は、各自調べたり、教員に質問したりすること。 普段から挨拶や言葉づかい、態度、書類の書き方等に気をつけること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③積極的に取り組んでいる。
レポート	70%	10点満点のレポート課題を7つ提出する。S評価は、①各設問に適切に答えている。②自由記述は8割以上記入されている。③学びや気づきなど、自分の考えが具体的に記述されている。④提出期限を守っている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
平成29年度 佐野日本大学短期大学 進路支援資料集 『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入） その他、国家試験に関する模擬問題集やワークブック、各授業のテキスト・参考書・配布資料等を使用する。		
履修上の留意点・ルール		
進路の実現に向けて、学生支援課を活用しながら、積極的に行動すること。 受講するマナー・態度として、飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机上に置かない。やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（ビジネスデザインフィールド卒業研究） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	基本的にはビジネスデザインフィールドの学生用である。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
小林大輔		講義棟 1F	火曜～金曜 9:00～18:00（授業及び会議の時間を除く）	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションができるようにする。				
授業の方法				
個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)ビジネスマナーとビジネス文書作成スキルを修得し、就職活動を自主的かつ円滑に行うことができる。 以上により、就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 就職活動報告			
第2回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 1 未内定者：業界研究及び就活指導 1			
第3回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 2 未内定者：業界研究及び就活指導 2			
第4回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 3 未内定者：業界研究及び就活指導 3			
第5回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 4 未内定者：業界研究及び就活指導 4			
第6回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 5 未内定者：業界研究及び就活指導 5			

第7回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 6　未内定者：業界研究及び就活指導 6		
第8回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 7　未内定者：業界研究及び就活指導 7		
第9回目	内定者：メインユニットの資格検定対策及び発表会準備 8　未内定者：業界研究及び就活指導 8		
第10回目	卒業研究 1　短大での学びと就職活動　プレゼン作成　グループワーク		
第11回目	卒業研究 2　短大での学びと就職活動　プレゼン作成　グループワーク		
第12回目	卒業研究 3　短大での学びと就職活動　プレゼン作成　グループワーク		
第13回目	卒業研究 4　短大での学びと就職活動　プレゼン作成　グループワーク		
第14回目	卒業研究発表 1		
第15回目	卒業研究発表 2		
事前・事後学習	I Tや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート		70%	短大で得たスキル・学習成果を整理し、プレゼンテーションする。満点＝2年間の学びがまとめられているか。締め切りを過ぎたら減点する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題を必ず提出すること。			

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ(健康スポーツ)(卒業研究) Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤秀治	本館2F	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 履修指導 卒業研究テーマ設定			
第2回目	進路個人面談① 就職内定者＝資格試験対策問題の実施			
第3回目	タイムマネジメントについての説明及びディスカッション 【課題1】 受講内容の要約を時間内に提出			
第4回目	職場での人間関係についてグループワークを行う 【課題2】 グループワークで出た意見をまとめ、時間内に発表			
第5回目	マネープランについての説明及び自身のプラン作成【課題3】 自身のマネープランを作成し、時間内に提出			
第6回目	就職活動中の者：進路個別面談② 就職内定者：就職活動について報告書作成 卒業研究中間報告			

第7回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施①	
第8回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施②	
第9回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施③	
第10回目	冠婚葬祭のマナーについて 【課題 4】受講内容の要約を時間内に提出	
第11回目	お中元、お歳暮、年賀状などのマナーについて【課題 5】受講内容の要約を時間内に提出	
第12回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施④	
第13回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施⑤	
第14回目	卒業研究発表 【課題 6】卒業研究の資料を提出	
第15回目	まとめ 【課題 7】キャリア教育から学んだこと	
事前・事後学習	事前学習として各授業のテーマについて本やインターネットを使い、調べておく、資格試験対策に関しては問題集に取り組むこと。事後学習については授業中に配布した資料を基に復習を行うこと	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題を必ず提出すること。教室への食べ物は持ち込み禁止、携帯電話の使用禁止。		

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア演習Ⅱ（留学生） Career Seminar Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	（ ）	留学生用科目
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
松崎勇人		講義棟2階	火曜を除く昼休みや講義の空き時間	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけて、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。さらに、留学生の進路特有の内容を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティブラーニングをも実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の自己実現を支援する。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 以上により進路を実現できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	就職と編入、卒業に向けて			
第3回目	個人面談1、進路決定状況の確認			
第4回目	個人面談2、就職活動の反省			
第5回目	個人面談3、就職するための課題についての討論			
第6回目	卒業時にすべきこと			

第7回目	試験問題等の反省と改善	
第8回目	会社研究	
第9回目	会社研究と試験対策について討論する	
第10回目	編入試験問題対策、【課題 1】会社についてのレポート提出	
第11回目	卒業研究のテーマ説明、日本における仕事に関わるテーマを定める	
第12回目	卒業研究の資料収集	
第13回目	卒業研究の中間発表と相談を受けて助言する	
第14回目	卒業研究発表 1	
第15回目	卒業研究発表と討論、【課題 2】日本における仕事についてのレポート提出	
事前・事後学習	事前学習については前の週に予告されたテーマについて調べておくこと、事後楽手については学習した内容の振り返りを行うこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	20点満点の課題を1つ。50点満点の課題を1つ提出する。満点=各設問に適切に答えているか、自由記述は8割以上記入されているか。締め切りをを過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出締め切りをを守りを必ず提出すること。欠席の場合は欠席届を提出すること。		